

様式③-1

平成30年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		復旧治山	明神滝	
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班	電話番号
	100060	治山林道課	治山班	059-224-2575
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)		市町字名
	90	熊野	郡部 過疎	御浜町 大字上市木字明神滝
④事務事業名	治山事業費			
⑤基本事業名	治山対策の推進			
⑥公共事業評価システムにおける分野名	山林の保全			

2 事業の概要

事業の概要				
アンカー工	44本		事業採択	2008年度
暗渠排水工	60本		事業着工	2008年度
排土工	15,638m ³		事業完了	2024年度
法枠工	2,229m ²		供用開始	2025年度
谷止工	1基		全体計画事業費(億円)	8.750
山腹工	2.0ha		全体計画工期(年数)	17年
事業の目的				
当該地は、平成19年豪雨の影響により、地すべりが発生し、林道が被災するとともに不安定土砂が渓流に流出した。このことから溪間工と併せて地すべり対策を実施することにより、渓流の安定、地すべりブロックの安定化を図り、下流域の保全に資する。				

3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成29年度	前回評価		
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項		
事業進捗率	2016年度までの事業進捗率 42.7%	2017年度完了までの事業進捗率	47.6%	実施済み総事業費 (億円)
事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]				4.162
暗渠排水工	60本	法枠工	1447.4m ²	山腹工 0.27ha
排土工	6,539m ³	谷止工	1基	

4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 □用地買取に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

5 公共事業再評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	